

目標達成計画

作成日:平成27年3月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号		目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	レクリエーションが出来てない。季節の催し等が充実していない。	入居者様の残存能力を活かしQOLの向上の為に本人のやりたいことや、ニーズに対応したレクリエーションを行う。	月々の催し等をベテランと新人スタッフ1組の担当制にし、意識と質の向上を図る。インターネットを活用しニーズに添った新しい物を取り入れていく。	6ヶ月
2	13	消防法で義務づけられている年2回の避難訓練が実施できていない。	火災や地震等の災害時に備え、法定で年2回実施が義務づけられている避難訓練を行い、災害時に備えるようにする。	法定で定めるとおり年2回の避難訓練を実施することにする。うち1回は消防署立会いのもとで消防訓練を実施、もう1回は夜間帯を想定しての避難訓練を実施し、火災や地震等の災害時に備えることとする。	12ヶ月
3	10	カウンセリングが出来ていない。	2週間に1度は、入居者様のカウンセリングが実施出来るようにする。社員スタッフが司会を務め、派遣スタッフの意見をまとめていく。	日々入居者様の状態を観察し、日常生活での問題点をノートに記載し、詞会担当者が事前にカウンセリングの議題をスタッフに伝え、熟慮したうえでカウンセリングの場で、意見をいってもらう。	6ヶ月
4	5	検食が出来ていない。	毎食の検食を兼ねて、入居者様と一緒に食事をする。	検食をすることで調理に対する意識を高めると共に、入居者様と同じ物を同じテーブルで食べる事により、入居者様と自然と会話が出来、信頼関係も構築出来ると思われる。	3ヶ月
5	15				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。